

科目番号	53004	分類	専門科目 看護基盤科学領域	履修者	看護科学コース	学年	1		
科目名	健康生命科学特論Ⅱ (Advanced Course in Health Sciences 2)						1		
							配当セムター		
							後期		
担当者	○今井秀樹・高木晴良・小宇田智子			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
環境とヒト集団レベルでの健康像との関連を把握する方法を教授する。また健康生命科学分野における研究の進め方および論文の書き方を伝授する。						○	1. 看護学の継承・発展を図るための研究能力		
						○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
							3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を行うことができる能力		
						○	4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力		
						○	5. 実践を行いながら学際学生の臨床実習を指導できる能力		
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1回	環境とは1								今井 高木 今井 小宇田 今井 今井 今井 今井 今井 今井 今井 今井 今井 今井 今井
第2回	環境とは2								
第3回	原著論文講読・研究発表1								
第4回	原著論文講読・研究発表2								
第5回	ヒト集団の環境適応：生物学的適応および社会・文化的適応								
第6回	地域における環境問題：公害と健康・化学物質と健康								
第7回	地球規模の環境問題：紫外線・地球温暖化と健康地域における環境問題								
第8回	原著論文講読・研究発表3								
第9回	原著論文講読・研究発表4								
第10回	論文の書き方1								
第11回	論文の書き方2								
第12回	地域における環境問題3：電磁場と健康								
第13回	地球規模の環境問題：紫外線・地球温暖化と健康								
第14回	原著論文講読・研究発表5								
第15回	原著論文講読・研究発表6								
事前・事後学習	「研究発表」では自分の研究テーマの内容を発表するので、パワーポイントファイルあるいは配布資料等を用意することが望ましい。 事前学習は各2時間、事後学習は各1時間とする。								
評価の方法	出席・参加状況によって評価する。また適宜レポートの提出を求められることがある。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等									
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								